

屋久島主要山岳部の利用動向把握(カウンター) 調査について

1. 目的

屋久島の世界自然遺産登録地を含む山岳部の管理を行うための基礎情報として、山岳部の利用動向を把握することを目的とした自動観測装置(カウンター)による利用動向把握の調査を行っています。

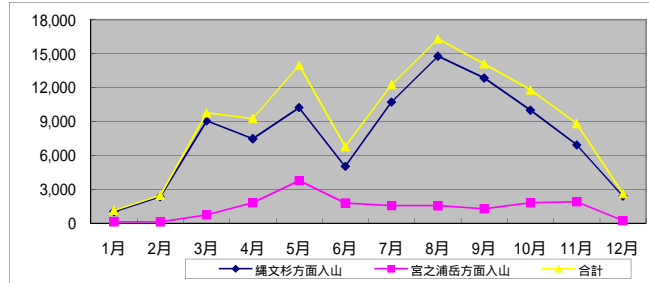
2. 経緯

- 平成11年7月 鹿児島大学の枚田助教がカウンターを設置し調査開始。
- 平成13年～ 環境省との共同調査に移行。
- 平成18年1月 カウンター機器を環境省により更新。

3. 調査方法

- 荒川登山口から縄文杉方面へ向かう登山道(楠川分れ付近)に2箇所、淀川登山口から宮之浦岳方面へ向かう登山道(淀川登山口)に1箇所、合計3箇所にカウンターを設置。より正確なデータ収集のため1箇所2台ずつ、計6台設置し、年間を通してデータを収集しています。(別紙2参照)
- カウンターは、赤外線の利用して通過人数をカウントする方式。日時や方向(上り・下り)等を記録します。

4. 平成20年利用動向データ(カウンターデータ)



平成20年(2008)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
縄文杉方面入山	1,004	2,330	9,034	7,461	10,214	5,006	10,706	14,765	12,829	9,980	6,913	2,367	92,609
宮之浦岳方面入山	116	109	715	1,798	3,750	1,759	1,541	1,533	1,267	1,800	1,876	226	16,490
合計	1,120	2,439	9,749	9,259	13,964	6,765	12,247	16,298	14,096	11,780	8,789	2,593	109,099
入島者数 (種子屋久観光連絡協議会調べ)	18,063	23,623	40,802	32,975	42,434	27,127	36,196	46,903	32,958	35,127	29,490	18,858	384,556
入島者数に対する入山者の割合	6.2%	10.3%	23.9%	28.1%	32.9%	24.9%	33.8%	34.7%	42.8%	33.5%	29.8%	13.8%	28.4%

赤字の箇所はデータ欠測期間があり、補正を加えた推定値。

<入山が集中した月>

- 縄文杉方面入山で最も多かったのが、8月の14,765人。ついで9月の12,829人、7月の10,706人。
- 宮之浦岳方面入山で最も多かったのが、5月の3,750人。ついで11月の1,876人、10月の1,800人。

<入島者数に対する入山者数の割合が多い月>

- 入島者数に対する入山者数の割合がもっとも多かったのが、9月の42.8%。ついで8月の34.7%、10月の33.5%。

<年間データ欠測率(平成20年1月～12月(365日間))>

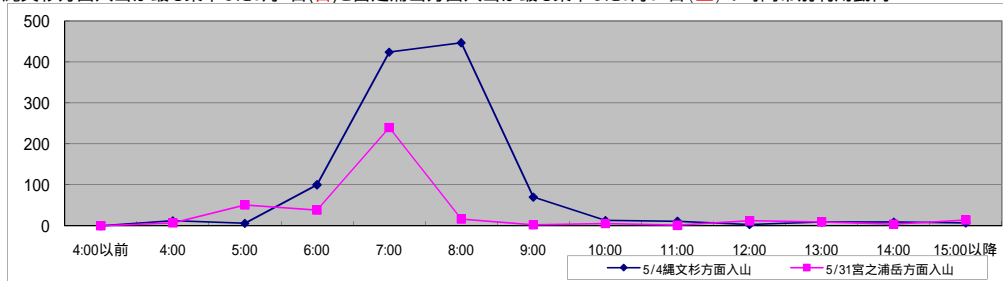
- 縄文杉方面入山のデータ欠測率は0%(0日/365日)。
- 宮之浦岳方面入山のデータ欠測率は0.8%(3日/365日)。

<入山が集中した日上位10日>

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
		縄文杉方面入山	月日	5/4(日)	10/12(日)	9/21(日)	7/20(日)	9/14(日)	3/21(金)	4/27(日)	8/11(月)
	人数	1111	879	809	767	731	679	653	644	625	623
宮之浦岳方面入山	月日	5/31(土)	5/4(日)	6/1(日)	6/6(金)	5/26(月)	5/3(土)	5/24(土)	5/27(火)	4/27(日)	5/30(金)
	人数	399	292	256	238	227	200	196	196	181	164

土日祝祭日は赤字表示。

<縄文杉方面入山が最も集中した5月4日(日)と宮之浦岳方面入山が最も集中した5月31日(土)の時間帯別利用動向>



	4:00以前	4:00	5:00	6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00以降
5/4縄文杉方面入山	0	12	6	100	424	447	70	13	11	3	9	9	7
5/31宮之浦岳方面入山	0	7	51	38	240	16	2	5	1	12	9	4	14

各カウンターを通過した時間帯のデータ。縄文杉方面入山カウンターは荒川登山口入山から約1時間の所でカウント。

- 1年間で最も入山が集中したのは、縄文杉方面入山:1111人{5/4(日)}、宮之浦岳方面入山:399人{5/31(土)}。
- 5/4(日)の縄文杉方面への入山は、7:00～8:00に集中。5/31(土)の宮之浦岳方面への入山は、5:00～7:00に集中。

5. 平成20年まとめ

- 宮之浦岳方面への入山者は5月のGWと、5月の第5週～6月の第1週に集中。最多日が5/31だったのは、シャクナゲ登山のイベントがあったためと思われる。
- 縄文杉方面で9月以降も入山者が多いのは、台風の接近が少ないなど天候の良い日が続き、また、夏休みの混雑期を避けた団体ツアーの利用が増えたことが主な理由と思われる。
- 縄文杉方面の3月の入山者が多かったのは、冬季が終わりに近付き気候が穏やかになるため、また、GWや夏休みの混雑を避けたためと思われる。
- 主要山岳部の利用動向は気象による直接的、また間接的(各交通機関の欠航等)影響を受けやすいといえるが、平成20年は、

特に利用動向の集中した5月(GW)と8～9月(夏休み)にほとんど警報は出ていない。年間を通して各交通機関の欠航が少なく。

5月(GW)や8～9月(夏休み)等の混雑期以外の時期も利用者が増加した。

以上のことから、年間を通じて入山者が多かった年と云えます。

6. 参考データ

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平成20年気象データ (気象庁屋久島測候所調べ)	警報なし	警報なし	14日:A・B	9日:A・B 16日:A・B 17日:A・B 23日:A・B	1日:A・B 2日:A 10日:A・B	警報なし	警報なし	20日:A・B	18日:A・B・C・D 30日:D	1日:D	警報なし	警報なし

A=大雨警報、B=洪水警報、C=暴風警報、D=波浪警報

・大雨警報の基準が山岳部県道の通行止めの基準と近い事も含め、各警報は入山者の登山目安となり、主要山岳部の利用動向に影響を与える

平成20年各交通機関の就航率	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
JAC	95.5%	99.1%	99.3%	96.7%	96.1%	88.0%	97.1%	97.7%	92.0%	95.5%	98.0%	100.0%
トッピー(宮之浦港発着)	94.6%	98.3%	94.6%	99.4%	100.0%	99.5%	100.0%	100.0%	96.5%	97.9%	100.0%	100.0%
トッピー(安房港発着)	95.2%	97.4%	95.0%	99.2%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	95.0%	96.7%	100.0%	100.0%
ロケット	91.8%	97.7%	93.5%	97.8%	96.0%	100.0%	100.0%	100.0%	95.6%	96.8%	100.0%	98.6%
フェリー屋久島2	93.1%	89.7%	90.3%	86.7%	100.0%	93.3%	100.0%	100.0%	90.0%	93.5%	83.3%	96.8%
フェリーハイビスカス/屋久島丸	96.8%	93.1%	87.1%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	93.3%	96.6%	100.0%	100.0%

・種子島経由の鹿児島-屋久島間運行船フェリーハイビスカスは12月21日まで運行、12月22日以降は鹿児島-屋久島間直行便のフェリー屋久島丸が運行。

7. 平成18,19年との比較

<入山者数>

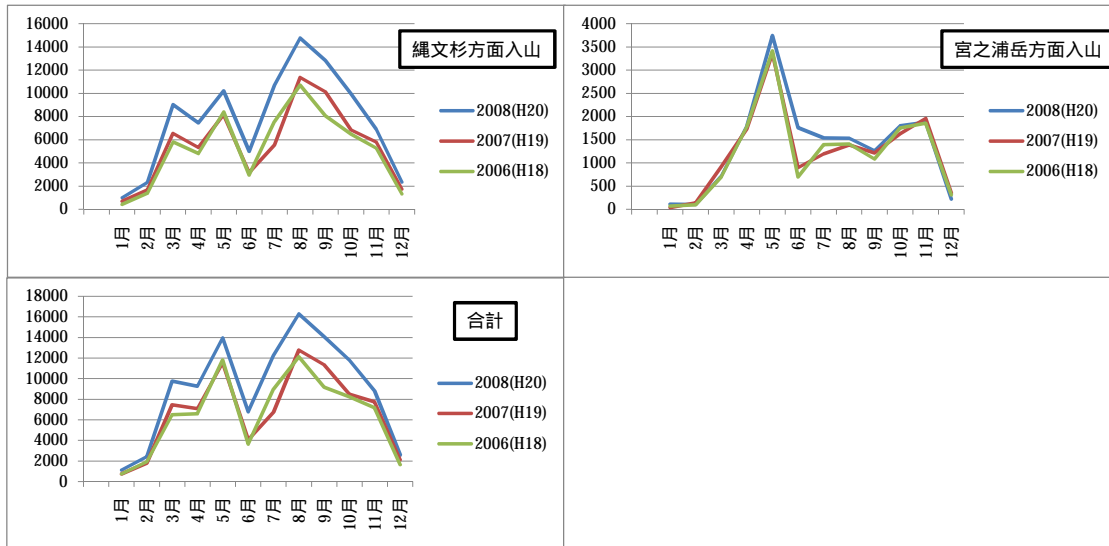
縄文杉方面入山	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
2008(H20)	1,004	2,330	9,034	7,461	10,214	5,006	10,706	14,765	12,829	9,980	6,913	2,367	92,609
2007(H19)	692	1,658	6,549	5,344	8,181	3,186	5,548	11,374	10,128	6,858	5,797	1,759	67,074
2006(H18)	430	1,392	5,804	4,810	8,396	2,952	7,580	10,707	8,079	6,480	5,283	1,324	63,237

宮之浦岳方面入山	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
2008(H20)	116	109	715	1,798	3,750	1,759	1,541	1,533	1,267	1,800	1,876	226	16,490
2007(H19)	40	139	917	1,736	3,363	900	1,198	1,391	1,215	1,628	1,959	353	14,839
2006(H18)	68	101	697	1,785	3,418	698	1,399	1,408	1,088	1,752	1,860	311	14,585

合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
2008(H20)	1,120	2,439	9,749	9,259	13,964	6,765	12,247	16,298	14,096	11,780	8,789	2,593	109,099
2007(H19)	732	1,797	7,466	7,080	11,544	4,086	6,746	12,765	11,343	8,486	7,756	2,112	81,913
2006(H18)	748	1,939	6,501	6,595	11,814	3,650	8,979	12,115	9,167	8,232	7,143	1,635	78,518

赤字の箇所はデータ欠測期間があり、補正を加えた推定値。(平成22年2月一部訂正)

青字の箇所は期間中に工事があり、工事関係者の通行があったため補正を加えた推定値。(平成22年2月一部訂正)



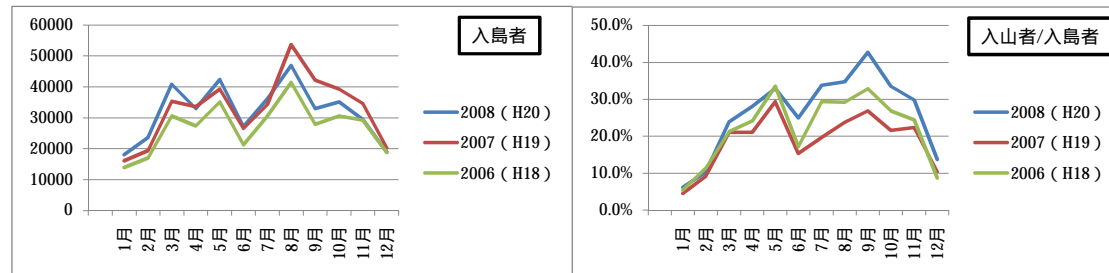
・縄文杉方面の入山者に関して、平成20年も入山傾向は過去2年とほぼ同じであったが、入山者数は全ての月で過去2年を上回り、平成19年からは約2万5千人増加した。

・宮之浦岳方面の入山者に関して、平成20年は過去2年に比べて6月の入山者が多かった。これは、6月に入山規制の判断となる気象警報がほとんど無かったためと思われる。また、夏休み時期の7月と8月で入山者数がほぼ変わらなかったが、これは7月に大型台風の上陸がほとんど無く入山規制がほぼ無かったためと思われる。同じような動向だった平成18年も同様の理由によるものと思われる。

<入島者数>

入島者数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
2008(H20)	18,063	23,623	40,802	32,975	42,434	27,127	36,196	46,903	32,958	35,127	29,490	18,858	384,556
2007(H19)	16,059	19,432	35,402	33,638	39,323	26,585	34,285	53,690	42,193	39,299	34,616	20,270	394,792
2006(H18)	13,886	17,020	30,603	27,335	35,185	21,253	30,545	41,487	27,874	30,621	29,260	18,771	323,840

入山者/入島者	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
2008(H20)	6.2%	10.3%	23.9%	28.1%	32.9%	24.9%	33.8%	34.7%	42.8%	33.5%	29.8%	13.8%	28.4%
2007(H19)	4.6%	9.2%	21.1%	21.0%	29.4%	15.4%	19.7%	23.8%	26.9%	21.6%	22.4%	10.4%	20.7%
2006(H18)	5.4%	11.4%	21.2%	24.1%	33.6%	17.2%	29.4%	29.2%	32.9%	26.9%	24.4%	8.7%	24.2%



・平成20年の入島者数は平成19年から約10,000人減少したが、総入山者数は約26,000人増加した。これは、島外に移動する交通機関が燃料油サーチャージによって値上げしたことにより、前年より島内在住利用者の比率が減ったためと思われる。また、動向に関しては過去2年とほぼ同じ傾向が見られた。

・入島者数に対する入山者数の割合に関して、平成20年は平成19年に比べて平均7.4%増加していたが、一年を通して過去2年とほぼ同じ動向が見られた。

・過去2年からの入山者数増加の理由として、TV・雑誌等に取り上げられる回数が多かったこと、世界遺産観光が流行していること、島外との主要な交通手段である高速船が料金の値下げと増便を行ったこと、利用者の多い7~9月に屋久島に上陸する台風がほとんど無かったこと等が影響しているのではないかとと思われる。